

文教常任委員会

合志市公民館条例の一部を改正する条例

問 コインタイマー設置の工事期間と周知方法は。

答 今回改正する各施設の冷暖房使用料は旧西合志町の施設にあわせて実施する。工事期間・周知期間として2ヶ月をみており、6月1日を施行日としている。対象施設での掲示および広報により周知する。

平成19年度合志市一般会計補正予算

問 生涯学習課関係
問 総合運動公園の今後の整備計画は。

答 駐車場整備が必要だが市の財政状況から先送りになっている。団体での利用はバスや、マイクロバス等での利用をお願いしている。ネットの張替えは一部実施したが全体的に設備が老朽化している。
意見 現地調査により、ネットの不足している箇所については早急な対処を要望した。

問 奨学資金貸付金の減額理由について。

合志市後期高齢者医療に関する条例

問 保険料が払えない高齢者にまで資格証明書が発行されるのか。

答 広域連合で発行される。

合志市身体障害者等福祉年金支給条例を廃止する条例

問 廃止に対し関係者への周知はどうされるのか。

答 予算議決後に検討する。
反対討論

年額一人5千円の年金廃止に反対。不自由な生活をされている人たちを応援するべきだ。

賛成討論

自立支援法のもとで、一元的にサービスを提供するための条例廃止であるので賛成である。

平成20年度合志市一般会計予算

問 社会福祉協議会の補助金拠出は社協からの要求によるものか。

答 ここに計上しているのは人件費分である。社協独自の事業

で財源確保している部分もある。
(子育て支援課)

問 認可保育園の新設に関して、開設時期や将来人口に対して新設する事の妥当性は。

答 20年度は公募の方法等新設に向けた準備を始める。住宅に近接した保育園に希望が殺到している状況等保護者ニーズを踏まえて今後検討していきたい。
(健康づくり推進課)

問 社会保険対象で人間ドック費用を補助しない意図はなにか。

答 高齢者医療の確保に関する法律により、20年度から検診の実施はそれぞれの医療保険者の責務となるため補助しない。

平成20年度合志市国民健康保険特別会計予算

(経過説明)

委員会では、予算について説明を受け、質疑をおこなったが、本件は総務常任委員会審査されていた国保条例の一部を改正する条例案と関連していることから、その審査を待つて審査することになった。
総務常任委員会税率修正案が可決されたことを受け、審議を再開。委員より、「住民の受



総合運動公園

答 33人の貸付を予定していたが、28人に貸し付けた。貸付基準は厳しくなく、今年度は希望者全員に貸し付けた。

平成20年度合志市一般会計予算

(生涯学習課関係)

問 平成20年度予算は全体的に補助金が10%カットになっているが、生涯学習関係事業ではそれ以上のカットになっているものが多い。その根拠を伺う。

答 10%カットから更に15%カットが目標とされ、総額1億1741万円の減額調整をした。

問 大幅な減額予算の中で今後の

益者負担の軽減は必要と考えられる。修正された税率をもとに特別会計予算案修正を」との発言がありました承された。

反対討論

今回の予算は、保険税を大幅に引き上げた額で見込んでいる。今でも高くして払えない国保税を大幅に改正したら、ますます滞納者も増えることになる。医療を受けられない状況になる。

賛成討論

高齢者の方が病気等したとき安心して医療が受けられる大事な保険。相互扶助のもとで運営がなされているもので、これを維持していくための予算であり賛成する。

平成20年度合志市介護保険特別会計予算

反対討論

介護保険法のもとで、介護を受けられないだけでなく、生活そのものが圧迫されている。市独自の支援策を講じて利用料の引き下げをするべきだ。

賛成討論

いつしか人の手助けがいるようになり、そのような状態になったとき安心してサービスが受

見通しは。

答 来年度は大変厳しいが魅力的な事業を組めるよう勉強していきたい。緊縮財政の中でも効果が上がるよう取り組みたい。

意見 各施設の利用率を落とさないよう強く要望する。

(学校教育課関係)

問 学校教育活動指導助手の小学校分が減額になっていることについて。

答 年間時間数を減らし、中学校分3名を増加し、小学校17名、中学校6名を前年度と同予算で配置した。学校行事の中でやりくりし、学校指導には影響はない。

問 学校用務員の報酬が大幅減になったことについて。

答 今まで旧合志町は非常勤の嘱託職員で週30時間勤務、旧西合志町は派遣会社からの派遣で週40時間勤務となっていたが、今回、旧合志町の方式に統一した。旧西合志町の用務員さんには事情を説明し納得して継続勤務してもらうこととなっている。

意見 用務員の報酬減額はあまりにも大きく、「反対」との討論はあったが、勤務時間を減らし仕事内容を見直したもので問題は無いが、過去の経緯を考慮して対応

けられ、家庭の不安解消も図るための予算であるから賛成する。

平成20年度合志市後期高齢者医療特別会計予算

反対討論

高齢者に限らない負担を押し付け、受けられる医療を制限するような医療制度そのものに反対である。高齢者の生活が成り立たなくなってしまう。

賛成討論

国民にとって必要なシステムで、明確な方針のもとに取り組むもので、初年度は矛盾点もあると思うが多くの高齢者が救われる予算であるから賛成する。



ふれあい館にて

してほしいとの意見が多数。

問 教育費は重点施策となっているが、重点項目は予算化されているか伺う。

答 対前年比約2億6000万円の増であるが、うち西合志中学校の建設事業が約2億8000万円の増、南ヶ丘小学校大規模改造で約2800万円の減であり、他の事業分は前年度と変わらない。

(人権啓発教育課)

問 人権センター等使用料1万円は少ないのでは。

答 人権問題解決の拠点として自主サークルの使用料は免除している。企業等からは規定の使用料を取っている。



合生文化会館